

インターバンクの声（2015 年 1 月 14 日）

今週も日々の高値安値の値幅が 1 円以上あるので、想定レンジさえ大きな読み違いをしない限りそれなりの収益が狙えそうにも見えるドル円相場だが、現実には苦労しているディーラー仲間が多い。ドルが 118 円を割り込んだので 117 円台も前半まで沈み込むかと思えばあっさり 118 円台を回復。戻ってきた 118 円台では、今度こそ 119 円台超えをトライするかと思えば、再び 117 円台に下落する展開が続くとあって、うまく確保した利益幅と不本意な損失幅が拮抗してしまう日が続いているようだ。ドル買いに勢いを持たせたかった先週末の米雇用統計が思わぬ賃金下落を示す結果となり、市場はむしろ今までのようなドル買いを仕掛けにくいとの見方に変わりつつあるようだ。また、原油安が必ずしも米経済に追い風にならないとも囁かれ、6 月が中心だった米連邦準備制度理事会（FRB）の利上げ時期観測も後ずれしているようだ。上値も下値も僅かずつ下がって来ているのは確かなので、今日もドルが上昇したところではドル売りに傾けたい。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。